

不具合報告書の構成

「何が起きたか」から読み始め、操作と結果を確認できる順番にします。
このPDFの2～3ページが、1件の報告をまとめた記入済み見本です。

今回の報告テーマ

注文確認画面で、数量2を入力して進むと1と表示される

01	報告の概要	2
	件名・管理番号・報告状況	
02	発生条件	2
	日時・環境・開始前の状態	
03	操作手順	2
	入力値とボタン名を具体的に	
04	期待結果と実際の結果	3
	根拠と、観察した違い	
05	証拠と発生回数	3
	添付画像・確認回数	
06	影響と未確認事項	3
	分かった範囲と、分からない範囲	
07	依頼と対応履歴	3
	次に判断してほしいこと	

短い報告なら、目次ページは省略して構いません

目次は複数ページになる報告の整理例です。普段の報告票では、
上の項目を見出しとして使うだけでも、読みやすくなります。

概要・条件・操作手順

01 報告の概要

件名

【注文確認画面】数量2を入力して進むと、1と表示される

管理番号 / 対象

BUG-001 / テストケース TC-001

報告者 / 状況

テスト担当A / 調査依頼中

02 発生条件

発生日時

2026年9月13日 10:20ごろ（日本時間）

環境 / アプリの版

チーム指定のテスト用サイト / 検証版0.9.0

端末 / ブラウザ

Windows 11 / Chrome（版の番号は未確認）

開始前の状態

テスト用の一般利用者とログイン済み。
商品Aの数量入力画面。数量は1、エラー表示なし。

実際の報告では、共有可能な接続先URLや環境名も記入します。

03 操作手順

1

数量欄の「1」を消す

商品Aの数量入力画面から開始する。

2

半角数字の「2」を入力する

入力欄が「2」になったことを確認する。

3

「確認へ進む」を押す

移動先の注文確認画面で数量欄を見る。

注文確定の操作は行っていません。

REPORT / 記入済み見本 ②

結果・影響・依頼

04 期待結果と実際の結果

期待結果（こうなるはず）

注文確認画面の数量欄に
「2」と表示される。

実際の結果（見えたこと）

数量欄に「1」と表示される。
エラーメッセージは出ていない。

根拠：注文画面仕様書 第1版「数量の引き継ぎ」 / TC-001

05 証拠と発生回数

発生回数

初回と再確認1回の両方で発生（計2回中2回）。
再確認は、開始前と同じ状態に戻して実施。

添付する画像の例

01-input.png：手順2の後、数量2が分かる画面
02-result.png：手順3の後、数量1が分かる画面

※上記はファイル名の例です。このPDFに実画面の画像は添付していません。

06 影響と未確認事項

確認できた影響

数量2の表示確認ができず、TC-001を中断。

未確認の範囲

他の商品・他のブラウザ・本番での発生有無。
保存されたデータの値は未確認。原因は不明。

07 依頼と対応履歴

原因の調査と、関連するテストを続けてよいかの判断をお願いします。

対応履歴

9月13日 10:35（日本時間） テスト担当A：調査を依頼。
以後は、確認日時・担当者・対応内容を追記する。